

静岡県の高等教育におけるグランドデザインに関する議論

静岡県内には 27 の高等教育機関があり、その学問領域・研究分野は非常に多岐にわたるため、静岡県全体の高等教育におけるグランドデザインについては、ふじのくに地域・大学コンソーシアムの中（※）で、様々に議論がなされている。

※

令和 7 年 6 月 20 日

ふじのくに地域・大学コンソーシアム令和 7 年度第 1 回プラットフォーム形成推進委員会

令和 7 年 6 月 27 日

ふじのくに地域・大学コンソーシアム令和 7 年度学長等連絡会議

その中で、人口減少社会における人材育成と大学の在り方について意見交換が行われ、県内産業の維持に必要な人材の確保をめぐり、大学の収容定員や教育水準をどのように適正化していくかを論点とし、下記のような意見交換と認識の共有をしているところである。

- ・進学希望者の志向と大学教育内容との間に生じているミスマッチが指摘され、産業構造の変化に対応した学部再編や教育内容の見直しが必要
- ・大学の魅力は教育の質のみならず、立地する地域の魅力や生活環境にも左右されるため、地域と連携した教育展開や、多様な学習者を受け入れる柔軟な仕組みづくりが重要
- ・医療・福祉などエッセンシャルワーカーの育成、社会人の学び直し（リカレント教育）、及び外国人留学生の受入・定着支援など、年齢や国籍を超えた学びの循環を構築することが今後の課題
- ・静岡県および各大学が連携し、教育の質を維持しつつ地域の持続的発展に資する高等教育の体制整備を進めていくことが求められる